

# まちの将来ビジョンと第5次総合計画は

星野 靖江 議員



【問】新たな東郷の将来像と市町村合併の行方は。

【町長】名古屋市も含め近隣市町的情勢を再検討し、定住自立圏構想も視野に入れたい。

【問】行財政厳しい時代。住民ニーズを的確に判断・総合点検・評価する仕組みは。

【総務部長】第5次総合計画では関係指標等のチェック機能の仕組みを庁内プロジェクトで検討し、審議会にはかる。

## 障害のある児童生徒一人ひとりの教育の場を

【問】個別教育支援計画の取組みは。

【教育長】すべての該当児童生徒に対し実施。今後は個別支援計画をさらに確立することが課題と認識している。

【問】連絡調整役コーディネーターの現状は。

【教育長】全校配置しているが専任ではなく、困難な点が多い。

【問】学校施設内バリアフリー化の取組みは。

【教育長】現在は耐震補強工事を最優先し、平成22年度完了後、バリアフリー化も含め計画的に推進。

【問】学級運営改善対応員や学校生活介助員の増員は。

【教育長】次年度は各1人ずつ増員。生活指導サポート員2人。18人配属を計画。ネットワーク体制強化の必要性を感じる。

## まちの広場の視点から特色ある図書館を

【問】今後の課題は。

【教育部長】子育て支援を重点に充実をはかり、情報提供資料等考慮したい。



図書館で配布している新刊案内

# 一般質問

# 庁舎付近の駐車場の利便性をはかれ

箕浦 克巳 議員



【問】町民が役場に所用で行った時、駐車スペースで困る場合の対策は。

【総務部長】駐車台数の総数は565台で障がい者専用は12台であり、概ね足りていると認識している。大きな行事の時は整理要員を配置している。

【問】職員などの利用実態は。

【総務部長】利用対象職員は約30名で過半数が利用している。臨時職員も多く存在するので最大級で24台くらいとなり、一般利用可能台数は約30台となる。

【問】障がい者専用スペースの案内に内部障がい者や妊婦さんも駐車OKの看板を設置しては。

【総務部長】検討したい。

## 脳脊髄液減少症の対策

【問】脳脊髄液減少症は、交通事故、スポーツ中に起きる頭部や全身への強い衝撃によって脳脊髄液が漏れることでさまざまな障がい引き起こされていく病気が認識は。

【健康部長】初めて聞く症名であり、今後関係者に周知していきたい。

## 住宅火災の生活支援策

【問】最近も町内で発災しているが、本格的な冬を迎え心配される。万一の時の支援策は。

【福祉部長】日常生活用品の支給を迅速に行い、罹災者の生活の安定がはかれるよう、緊急セットなどを配布している。

【問】住宅の確保が最優先と考える。雇用促進住宅を町民の緊急避難所として整備できないか。

【総務部長】管轄外で対応できない。



役場玄関前の障がい者専用駐車場